



平成20年4月22日

各位

会社名 クラリオン株式会社  
 代表者名 取締役社長 泉 龍彦  
 (コード番号 6796東証・大証各第一部)  
 問合せ先  
 責任者役職名 常務執行役員 広報室担当  
 氏名 川本 英利  
 TEL (048) 601-3700 (代表)

## 平成20年3月期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、昨年10月29日の中間決算発表時に公表いたしました平成20年3月期（平成19年4月1日～平成20年3月31日）の業績予想につきまして、下記のとおり修正いたします。

## 記

## 1. 平成20年3月期連結業績予想数値(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成19年10月29日発表)	233,000	5,500	4,400	1,000
今回修正予想(B)	246,000	5,500	5,000	1,400
増減額(B-A)	13,000	0	600	400
増減率(%)	5.6	0.0	13.6	40.0
前期実績(平成19年3月期)	181,041	3,072	2,052	784

## 2. 平成20年3月期単独業績予想数値の修正(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成19年10月29日発表)	130,000	2,000	1,100	100
今回修正予想(B)	139,000	1,900	1,400	200
増減額(B-A)	9,000	100	300	300
増減率(%)	6.9	5.0	27.3	—
前期実績(平成19年3月期)	128,300	20	626	2,257

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

### 3. 修正の理由

(連結) 国内外OEM市場における売上が堅調に推移したことにより、売上高は増加する見込みです。OEM市場における売上増加に伴い収益増となりましたが、販売価格の下落、開発投資の増加及び原材料価格の上昇による合理化未達等により、営業利益は変更ございません。また、為替差損益等営業外収支の改善により経常利益は増加となる見込みです。特別損失において単独における株価下落に伴う評価減等を計上しておりますが、当期純利益につきましては増加となる見込みであり、中間決算時に公表しております業績予想を修正いたします。

(単独) 連結と同様に、国内外OEM市場における売上が堅調に推移したことにより、売上高は増加する見込みです。損益面につきましては、売上増加に伴う収益増が見込まれるものの、販売競争の激化による販売価格の下落、開発投資の増加及び原材料価格の上昇による原価低減等の合理化未達等により、営業利益は微減となる見込みです。経常利益につきましては、子会社の中間配当実施により増加となる見込みです。当期純利益につきましては、欧州子会社株式の実質価値低下に基づく投資損失引当金420百万円及び投資有価証券の株価下落に伴う評価減291百万円等を特別損失に計上したことにより減少となる見込みであり、中間決算時に公表しております業績予想を修正いたします。

以 上